

防災の日と防災週間

訓練を通して地震発生後の行動や日頃からの備えを確認

9月1日は「防災の日」、8月30日から9月5日までは「防災週間」です。防災の日は、1923年（大正12年）に発生した関東地震（関東大震災）や、戦後に甚大な被害をもたらした1959年（昭和34年）9月に発生した伊勢湾台風をきっかけとして、全国的に災害に対する心構えなどを育成するために定められました。

防災の日や防災週間に合わせて防災訓練なども実施され、大阪府では9月1日に「令和8年度大阪880万人訓練」が実施されます。訓練では、10時00分に大規模地震が発生（訓練開始）し、10時03分にエリアメール／緊急速報メールを通して大津波警報の発表を伝達します。訓練の詳細については、大阪府HPをご確認ください。

このような訓練などを通して、地震が発生した際の避難行動を今一度確認してみましょう。緊急地震速報を見聞きしたとき、強い揺れが到達するまでわずかな時間しかありませんが、どのように身の安全を確保しますか？海岸付近で、地震による強い揺れや弱くてもゆっくりとした揺れを感じた場合、大津波警報・津波警報を見聞きした場合にはどの場所に避難しますか？人によってお住まいの場所や生活環境が異なるため、地震や津波に対する必要な備えも様々です。気象庁では、自らの命は自らが守るeラーニング教材「地震・津波から命を守る」を公開しており、自宅と自宅周辺における地震・津波のリスクや、地震や津波が発生した際にとるべき行動、日頃からの備えについて整理できますので、訓練に合わせて活用することもできます。

防災の日や防災週間をきっかけとして、防災に関する行動を1つでも実施してみませんか。

参考：

- ・大阪府ホームページ「令和8年度大阪880万人訓練について」
<https://www.pref.osaka.lg.jp/o020090/shobobosai/880kunren/reiwa8nen.html>
- ・気象庁ホームページ「地震から身を守るために」
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/jishin_bosai/index.html
- ・気象庁ホームページ「津波から身を守るために」
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami_bosai/index.html



気象庁 eラーニング「地震・津波から命を守る」はこちらから



URL: <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jma-svd-el/jishin/tsunami.html>